UN Forum Kansai

国連フォーラム関西

United Nations Forum Kansai

団体説明・活動紹介資料

1. 国連フォーラム関西支部とは？

国連フォーラム関西支部は、国連フォーラムの地方支部です。

【国連フォーラム組織図】

幹事会

- メーリングリスト班
- 勉強会

- スタディプログラム

- オフ会

- 地方支部
  - 九州支部
  - 関西支部

関西において 若者を対象に、国連、特にSDGsに関する議論や情報共有、参加者同士のネットワーキングを行う場を提供することを目的に設置されました。

- ユース班

インタビュー

- 国連職員NOW！

- 国際仕事人に聞く

- 国連でインターン

- フィールドエッセイ

- 私の提言

UN Forum Kansai

設立趣意・活動内容

《設立趣意》▶設立趣意

- 関西において、国連フォーラムの活動を活発にする。
- 関西の若者の、地球規模の課題に対する理解を深め、議論する機会、ネットワークを構築する**機会を創る**。

《活動概要》

- 関西における国連・国際協力に関する勉強会やネットワークの構築の**機会提供**
- 関西における国連・国際協力に関するイベント・インターンなどの**情報の発信**
- 関西における国連機関や大学と**連携強化**、企画の実施

UN Forum Kansai

取り組む課題

国連で働きたい、地球規模の課題の解決に関心を持つ

関西の若者たちが抱える課題

国連や地球規模の
課題について
議論や情報交換をする
機会が少ない

国連や地球規模の課題解決に関心を
もつ/取り組む若者(高校生、大学生、社会人)
を巻き込む包括的な
ネットワークが少ないために、情報
が伝わりにくい

UN Forum Kansai

目的、方向性、活動内容

目的

関西で、国連フォーラムの活動を活発にする。

国連・地球規模の課題に対する理解を深め、議論できる機会、ネットワーク構築の機会を創る。

＜現状＞

- 関西には、国連や地球規模の課題について**議論**や**情報交換をする機会**が少ない
- 関西には、国連や地球規模の課題解決に関心をもつ/取り組む若者(高校生、大学生、社会人)を巻き込む**包括的なネットワーク**が少ないために、情報が伝わらない

方向性

- 国連フォーラム関西は、関西において、国連や地球規模の課題解決に関心をもつ若者の、**プラットフォーム**をつくる

＜活動指針＞

- 国連やSDGs、地球規模課題について、若者と実務者・専門家が活発に議論を行える場を創る。
- 国連と地球規模課題に関心を持つ/取り組む若者と実務者・専門家の、包括的なネットワークを創る。

活動内容

- 関西において、国連、国際協力、地球規模課題について議論と情報交換、参加者のネットワーキングを行う機会を増やす

＜解決策①＞<u>インプット・議論の場の提供：</u>

(1) 国連、SDGs、地球規模課題をテーマにした勉強会を開催する。

＜解決策②＞<u>情報共有・ネットワーキングの場の提供</u>

(1)Facebook GPを中心に、情報交換・機会提供を活発にする。

(2) 関西のステークホルダーとの連携を強化する。

└国連・国際機関、NPO/NGO、大学、民間企業等

国連フォーラム関西　ロジックモデル

2019/03/13　　作成：黒﨑　野絵海

ビジョン：関西において、国連や国際協力、地球規模課題に関心を持つ層のプラットフォームをつくる。

理念：国連/国際協力/地球規模課題に対する理解を深め、議論する・情報共有するネットワーク構築の機会を創る。

関西支部の活動

対象	資源投入	事業	事業の方向性	結果
関西に縁のある ・学生 └大学/高校 ・NGONPO ・民間企業 ・公的機関 ├UN/JICA等 └地方自治体	FBグループにおける**投稿者** **運営メンバー** **ゲスト**	**情報交換**の場作り └Facebook Group **議論する**場作り └勉強会/イベント **ネットワーク**の場作り **広報** └webサイト **営業（広報？** └関西支部の知名度向上活動	**プラットフォーム機能の強化** └新しい層へのアプローチ（NGO/民間） └ロールモデルとしての講師の多様化 **勉強会/イベントの質の向上** └ネットワーク機能の強化/扱う課題やテーマの多様化 **UNF他班との連携** **関西の諸団体との連携／協働**	FB Group投稿数増加 FB Groupの参加者数増加 ネットワーク機能のある勉強会/イベントの増加 勉強会/イベントの参加者層の多様化 運営メンバーが年間一人当たり10イベントに参加

目指しているインパクト

初期成果	中期成果	長期成果	波及効果
FBGroupの活性化 └情報交換活発化 └議論の発生 **勉強会/イベントでの議論の活性化** 勉強会/イベントにおける**参加者同士の交流の増加**	**「国連フォーラム関西ってあるよね～」**状態 **団体/世代の域を超えた議論の場の発生・増加** **団体/世代の域を超えた情報交換の場の発生・増加**	SDGs/国連/国際協力に関心を持ち始めた層が、**正確な情報を得、意義あるネットワークを構築**できる。 国連フォーラムに**参加すれば** **・良い情報** **・質の高い議論** **・良いネットワークが得られる**という認識が広がる。	**関西に縁のある方**が、SDGsの達成や国際課題の解決のために**活躍できる機会を得る**ことができる。 **自発的に**国連や国際課題/地球規模課題に対して**議論する環境**が生まれる。

メモ欄

【対象について】
顕在的な層
└行動している層
潜在的な層
└関心を持ち始めの層

【情報交換の内容】
・キャリア選択
　└実務経験,企業、キャリアパス、インターン等
・特定の分野の情報交換
・（参加者同士の）近況報告

各勉強会と
初～長期成果との関係（機能）
を明確にする。

国連フォーラム関西支部の活動

国連フォーラム関西の運営メンバー
・「場」の提供活動
・ 組織内運営
を行っています。

国連フォーラム関西支部の活動：「場」の提供活動

＜場の提供＞

- 勉強会・イベントの実施
- Facebookグループの運営

＜組織運営＞

- Webサイトの設置・運営、評価分析、内部勉強会等

３つの価値提供と さらなる機会を目指して

国連フォーラム関西では**情報共有・議論の場・ネットワーク の「場」の提供**を目的に
これまでオンサイトで勉強会・イベントの実施を行ってきました。

インプット
講演・プレゼン

アウトプット
ディスカッション・
ワークショップ

ネットワーク
ネットワーキング
タイム

さらに

**具体的な行動を
起こす
きっかけへ…**

過去に扱った勉強会のテーマ:
SDGs、教育、人権、まちづくり、ビジネス、キャリア、etc.

より価値のある場を提供するために

勉強会・イベント開催までのプロセス　↓

企画コンペ
実施する企画を選定し、チームを結成します。

年2回

定期ミーティング　（2週に1~2回程度）
企画を有益なものにするための議論や、各担当の進捗確認や検討事項、今後の進め方などに企画について具体的に話し合っていきます。

内部勉強会

ゲスト渉外

ディスカッション検討

広報

開催予定日の3カ月前～

勉強会当日
メンバー全員で、勉強会を運営します。

当日

評価
＋
開催報告

～2週間後

国連フォーラム関西支部の活動：「場」の提供活動　～勉強会・イベントの実施～

過去の勉強会テーマやオフラインの勉強会

勉強会の企画を通して
学ぶことも多く、
やりがいを感じます

国連フォーラム関西支部の活動：「場」の提供活動　～Facebookグループの運営～

いつでもどこでもアクセス可能な プラットフォーム

いつでも、どこでも、誰でもが自由に
情報交換や議論を行える場としての
Facebookグループ

- グループ参加・投稿の承認
- 投稿形式の企画
- グループの管理

国連フォーラム関西支部の活動：「場」の提供活動　～Webサイトの設置・運営～

過去の議論・勉強会を振り返る場に

Webサイト運営の目的

- 過去の勉強会やその際の議論を検索する
- Facebookアカウントを持っていない方でも勉強会の情報にアクセスできるようにする

「関西で国際協力といえば 国連フォーラム関西」を目指して

勉強会チーム

運営チーム（班）

↓

- 内部勉強会班
- 評価・分析班
- 広報班
- リクルート班

進捗状況を
全体ミーティング
（2月1回程度）で報告、

アドバイスの交換や議論
を行う

リーダーは、
国連フォーラムの
幹事会議で
定期報告を行う

★ できるときに、できることをやる
★ やると言ったことはやる、できないときは手を挙げる

運営メンバー募集について

現役メンバー・OBOGから聞いた
国連フォーラム関西を通じて学んだこと

UNFKはいろんなことに挑戦できる失敗してもいい環境。GDや渉外、Excelの使用など、社会人になってから役立つであろう経験を得ることができる

ワクワクする事・心惹かれる事を自ら探し出し、他人に伝え、一つの事を創り上げることの意義と楽しさ

国際問題という共通の関心事を持つ、学生、社会人をどのようにつなげることができるかを感じメンバーで考え続けるプロセスの中で、イベントの企画の仕方や、SNSコミュニティの作り方を学びました

国際協力に関する
幅広い知識と人脈

“問題を「自分事」に捉える”という意識

活動を通じて得られる学び(特に中期経営計画の策定・企画運営・上層部への報告業務・チーム員へのフォロー等)は、社会人なっても活かされました

企画をする中で、大学や所属を超えた人との協働ができ、リーダーシップやコーチングなどを実践できる。

Q&A

質疑応答

Q.　国連フォーラム関西は院生が多いイメージですが、運営メンバーの所属の割合は？

A.　現在の運営メンバーの割合は、学部生が7~8割、院生が1~2割です。現在は、社会人のメンバーの方も参加しています。

社会人メンバーの場合は、スライド10の運営チームには所属せずに勉強会チームのみの所属にするなど負担が軽減できるように工夫しています（その他にもアイデアがあれば取り入れていきたい、とも考えています）。

Q.　今まで勉強会を実施していた大阪からは離れた地域に住んでいるが、オンサイトの活動は大阪以西で活動することが多いのでしょうか？

A.　特に活動場所を限定しているわけではないですが、（国連フォーラム関西は基本的に資金を持たず活動しているため）予算やアクセスの利便性などの関係上、関西学院大学の梅田キャンパスを使用しています。現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインで実施しています。

ただ、最近京都で使用できそうな施設があるため、そちらでの開催もしてみたいと考えています。

質疑応答

Q.　今回の公募の基準は何ですか？

A.　国連フォーラム関西ではリクルートの際に、候補者の方と組織の両方にとってWin-Winであるか、またそれが見込めるかを大切にしているので、それを確認するために応募フォームの質問（志望動機）を設けています。
具体的には、国連フォーラム関西の活動を理解したうえで、候補者のスキルアップやキャリアプランなどにどのように有益になると考えているのか、また国連フォーラム関西の活動にあたって候補者がどのようにコミットして参加者への価値提供に貢献できるか、を知りたいと考えています。

Q.　留学等にいく可能性がありますが、そのような場合でも応募できますか？

A.　はい、（実質活動期間が条件を満たしていれば）応募して頂けます。実際に現役メンバーも積極的に留学やインターンに参加しています。その間は、活動を一時的に休止して留学やインターン等自身の活動に専念する人が多いです。毎回、成長して帰ってきてくれるメンバーを楽しみに活動しています。

質疑応答

Q.　過去にOCHA神戸事務所やJICA関西などと連携企画を実施していましたが、今後も国連機関などと連携して企画を実施していきますか？

A.　はい。今現在その予定はありませんが、今後も積極的に連携していく次第です。
スライド8にもある通り、国連フォーラム関西の企画は企画コンペによって決まり、そこで結成されたチームで再検討した企画ニーズや企画趣旨によってゲストや共催先が候補として選定されます。選定したのちに依頼を出し、引き受けてくだされば連携またはゲストとしてお呼びして企画実施に向けて進めていきます。

Q.　国連インターン等の経験者などはいますか？

A.　はい、現在・過去含めて国連インターンや国連ユースボランティア、JICAインターン、NPO・NGOインターンなど様々な経験を持ったメンバーがいます。

質疑応答

Q.　学部生や院生の方のSDGs以外の興味関心分野などがあれば教えていただきたいです。

A.　SDGs以外であるかどうかは分からないのですが、現役メンバーの関心は、平和構築や核軍縮、難民支援、人道支援など様々です。

Q.　運営メンバー同士での関わりは多いですか？

A.　活動は基本的にオンラインになるので実際に会って話す機会は少ないかもしれないですが、月1回の全体ミーティングや勉強会・チームミーティングなど意外と連絡を取り合っています。ミーティング前後で少し世間話をしたり、勉強会後にメンバーでご飯を食べに行ったりもしています。